



【診療科目】

神経内科／整形外科／脳神経外科／腎臓内科
耳鼻咽喉科・頭頸部外科／心臓血管外科／形成外科
消化器外科・移植外科 等 計 33 科

【病床数】

許可病床数 610 床(一般病床 602 床, 感染症病床 8 床)

【リハビリテーション部スタッフ】

理学療法士 7 名／作業療法士 4 名
言語聴覚士 3 名／助手 6 名

【リハビリテーション処方割合】

平成 28 年 1815 例
脳血管疾患等 47.8%・運動器 19.8%・呼吸器 14.8%
心大血管 7.1%・がん 5.1%・その他疾患 5.5%

【施設基準】

脳血管疾患等リハビリテーション(I)
運動器リハビリテーション(I)
呼吸器リハビリテーション(I)
心大血管疾患リハビリテーション(II)
がん患者リハビリテーション

【リハビリテーション部特徴】

- ・各診療科の回診に同行
(整形外科・脳神経外科・神経内科・心臓血管外科)
- ・病棟カンファレンスを定期的を実施.
- ・耳鼻咽喉科の嚥下回診に ST が同行.
- ・栄養サポートチーム(NST)委員会に PT、ST が参加.
- ・緩和ケアチーム回診・乳がん術前カンファレンスへ参加.
- ・喉頭摘出手術を受ける患者と家族へ代替発声手段を紹介
(「オオルリの会」月 1 回開催).
- ・リハビリテーション部内での勉強会・症例検討会開催.

【理学療法】

整形外科疾患では人工関節、脊椎疾患、骨折等に対し術前より訓練を施行しています。脳血管疾患では、入院翌日～3 日程で訓練を開始します。パーキンソン病等の慢性疾患、難病の患者様のリハビリテーションも施行しています。呼吸リハビリテーションは人工呼吸器管理中から訓練を開始。慢性閉塞性肺疾患(COPD)に対し教育入院パスを作成し他職種と情報共有しています。

【作業療法】

中枢神経疾患・整形疾患を中心に、上肢機能訓練・ADL 訓練・高次脳機能訓練などを急性期より行っています。外傷も多く、骨折・腱損傷・神経損傷などの手の外科疾患、機能再建後のハンドセラピーや、がんの周術期・ターミナル期においてもがんリハビリテーションを実施しています。

【言語聴覚療法】

中枢神経疾患などの急性期リハビリテーションに加え、頭頸部癌術後の構音・嚥下・電気喉頭の訓練も行っています。嚥下造影検査(VF; Videofluorography)に積極的に参加し、嚥下機能を評価・解析することで、得られた情報を治療に活かしています。外来では、言語発達遅滞や構音障害のお子さんの訓練も行っています。